

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



条例改正の根拠法への質問が議題外？

市議会9月定例会初日、国のデジタル関連法の成立に伴って必要となった、市のいわゆるマイナンバー条例の改正案が提案されました。

その議論の中で、デジタル関連法の方向性やそれに対する市の考え方などについては、「議題外」として答弁を拒否しました。

東村山市議会では近年、議会での議論を封じるように、“議案書に書いてある文言に関すること以外は、質問してはいけない”という方向になっています。しかも、議員である議長や自民・公明などの議員が率先して「議題外」であることを主張する状態です。

しかし、議案書に直接書いていない事でも、提出された議案が市民に与える影響や、条例改正のき

かけとなった法改正などにたいする市の対応など、市民の利益を守るために必要な議論は行うべきではないでしょうか。

現職の議員の中で最も期数の長い朝木直子議員(草の根市民クラブ)は、「以前は、たとえば保育料改定の条例提案であっても、保育政策全般に対して質問できたり、たいていのことは質問できた。こんなに『議題外』と言って質問を制限するのは最近になってから」と話していました。

他市の議員に聞いても、「そのような質問制限はない」と言います。

本来の役割である“議論”を、しっかりとできる議会に変えていくために取り組んでいきます。

宮本徹さん比例復活で当選



当選確実の方を受け、ガッツポーズ。後列右から3人目が宮本徹さん。

10月31日に投開票された総選挙で、東京20区から市民と野党の統一候補として立候補していた宮本徹さんは、選挙区では及びませんで

したが重複立候補をしていた比例代表で、復活当選を果たしました。

当選確実が出ると宮本さんは「今回の選挙では、多くの要望が寄せられた、その声をしっかりと実現するために頑張っていく」「一緒にたたかったが届

かなかった仲間の想いも受け継いで頑張っていく」と決意を表明しました。

今回の選挙は、政権交代を実現するために市民と野党が手を取り合ってたたかいました。結果として、自民・公明の政権が継続することになりましたが、選挙戦を通じて様々な方々と手を繋ぐことができました。

この経験を活かし、反省することは反省し、政治を変えるために頑張ります。

**YouTube
やっています!**

チャンネル登録もお願いします!



シリーズ

SDGsって何? ⑧

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標の7つ目は、**安価で信頼できる持続可能なエネルギーをすべての人に**です。

私たちが住んでいる地球は、温暖化と気候変動という世界的な課題に直面しています。再生可能エネルギーの普及と価格の引き下げやCO2を大量に排出する化石燃料を利用する発電からの脱却、途上国などへの技術協力など、当たり前前にクリーンで安全なエネルギーへのアクセスが求められるようにすることが求めら

れています。

日本などの先進国では、省エネを進めるとともに、石炭火力発電から再生可能エネルギーへのシフトを進める先陣を切ることが求められています。日本政府は石炭火力発電や原子力発電に依存する姿勢を崩していません。

将来の世代にツケを残さず、住み続けられる地球を引き継ぐためには、今の私たちが責任のある行動をとらなければいけません。



Twitter



Facebook



発行：東村山市議会議員 渡辺みのる
東村山市恩多町4-41-78 070-2177-7629



お困りのことなど
お気軽にご相談ください。

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

渡辺携帯：070-2177-7629

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 930円

お申込み、お問い合わせは

渡辺みのるにご連絡ください。

渡辺みのる子育て日誌⑳

今年の運動会はいろいろと特別だった。

長女は小学校6年生で小学校生活で最後の運動会、次女は1年生で小学校最初の運動会、三女は保育園の年少組で保育園最初の運動会。

3人の娘すべてが節目となる運動会だった。

長女の保育園での初めての運動会からちょうど10年。長かったようであっという間だった10年だった。その時に買ったビデオカメラは今でも活躍している。

コロナの中で運動会も変わった。昨年からコロナの影響で、学年ごとに競技を行う形で実施されている。赤・白での点数競争や徒競走での順位付けもなくなった。純粋に子どもたちの頑張りや成長を見ることができた。

競争ではなく、子どもの成長と努力を感じられる運動会であって欲しい。